

質問の件名及び質問の要旨(質問時間)	答弁を求める者
<p>1 公共施設の在り方について (30分)</p> <p>本市の公共施設の多くは、昭和50年代～60年代前半の人口の急増に対応して、必要な行政サービスを提供するために集中的に整備されてきました。こうしたことから、公共施設の平均築年数は24年となり、今後、改修、更新期がほぼ同時期に集中してくることが想定されます。</p> <p>こうした状況を踏まえて、市では、平成19年度に「鶴ヶ島市公共施設の保全の考え方」を作成し、その後各施設の現状把握等を進め、それらの状況を分析し、平成24年度には「公共施設修繕白書」を作成しました。本年2月と3月には、各中学校区5会場で施設の在り方に関する市民意見交換会が開かれ、各地域において、公共施設に対する数多くの意見が出されました。それらを受けて、3月末には、公共施設の在り方を考えるシンポジウムも開催されました。</p> <p>これまでの公共施設の在り方についての取組みは、老朽化施設の集約化、統廃合としての先進的な取組みとして、NHKを始め、TV、新聞等でも取り上げられ、全国的にも注目されています。</p> <p>少子高齢化が進む社会事情、将来的な財政事情など施設を管理する側の視点、そして市民の意見や地域の事情など施設を利用する側の視点を踏まえて、今後の公共施設の在り方についてお聞きします。</p> <p>(1) 公共施設の集約、統廃合の考え方について (2) 地域の拠点づくりの推進との整合性について (3) 公共施設利用計画の策定状況について (4) 今後の取組みスケジュールについて (5) 今後、必要であるとする新たな公共施設について (6) 近隣他市町(レインボー協議会)との公共施設の相互利用について</p>	<p>市長</p>
<p>2 高齢者の安心安全に向けた取組みについて (15分)</p> <p>急速に進む高齢化社会において、高齢者が被害者となる事故や事件が多く発生しております。全国で交通事故の死者数は年々減少傾向にある中で、65歳以上の高齢者の交通事故死者数は全体の51.3%で半数以上を占めております。また、高齢者を狙ったオレオレ</p>	<p>市長</p>

質問の件名及び質問の要旨(質問時間)	答弁を求める者
<p>詐欺に代表される振り込み詐欺などの犯罪も跡を絶ちません。振り込み詐欺の被害者の8割以上が60歳以上の高齢者となっています。手口もより巧妙になってきており、気をつけていても引っ掛かってしまう。わかっているにもかかわらず信じてしまう。そうしたケースが多いようです。</p> <p>日常生活の中で、高齢者を取り巻く危険が増加している現状を踏まえて、本市の高齢者に対する安心安全の対策の取組みについてお聞きします。</p> <p>(1) 高齢者事故の現状について (2) 高齢者への交通安全対策について (3) 振り込み詐欺等の現状について (4) 高齢者への被害に遭わないための啓発について</p> <p>3 地域産業の活性化に向けた取組みについて (15分)</p> <p>現在、飯盛川の「ふるさと水辺整備事業」により、高倉地区のふるさと景観が整備され、農を活かした観光化が進められております。また、「水土里の交流圏構想」における農業大学校跡地周辺において、農業大学校跡地への企業誘致、運動公園2期整備、周辺緑地・水辺の保全の三位一体で進めていく方向性が打ち出されております。</p> <p>このような人を呼び込める新たな空間が生み出されていくことは、今後、地域産業にとって、新たな販路の確保、拡大につながり、発展性をもたらすものと思います。観光的要素や交通の利便性だけでなく、市内の消費地が近接していることなど、集客性の高いポテンシャルを秘めているこれらの空間を、有効かつ効率的に活用し、経済効果を図っていくためには、市内の農業、商業、工業が連携して、役割分担をしていく体制づくりが必要であると考えます。</p> <p>こうした観点から、地域産業の活性化に向けた取組みについてお聞きします。</p> <p>(1) 地域産業の活性化に向けての「人が集まる空間」の活用について (2) 農業、商業、工業の連携について</p>	<p>市長</p>